

# 2017年3月期 第3四半期 決算ハイライト



 **リそなホールディングス**  
RESONA

2017年1月31日

# 2017年3月期 第3四半期(累計) 決算の概要

## ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益: 1,298億円

- 前年同期比△3億円(△0.2%)、通期目標比進捗率76.3%
  - 実質業務純益の減益 : 【前同比】△321億円…(10)
  - 与信費用の改善 : 【前同比】+386億円…(12)

## ■ 実質業務純益: 1,656億円

- 業務粗利益 : 4,223億円、【前同比】△318億円(△7.0%)
  - 国内預貸金利益(銀行合算) : 【前同比】△179億円
    - ・ 中小企業向けや住宅ローンを中心に貸出金を着実に積み上げ、概ね計画水準の進捗。
  - フィー収益(信託報酬+役員取引等利益) : 【前同比】△63億円
    - ・ 金融商品販売等が減益も、不動産収益や法人ソリューション収益等が増益。
  - 債券関係損益(先物込) : 【前同比】△59億円
- 経費 : △2,568億円 【前同比】△3億円(△0.1%)

## ■ 財務基盤: 健全性を維持

- 不良債権比率(銀行合算) : 1.42%
- その他有価証券評価差額(銀行合算) : 5,188億円

## ■ 資本政策: 期初方針通りに進捗

- 第6種優先株(750億円)は12月8日付で取得・消却

HD連結(億円)	2017/3期 1-3Q		
		前年同期比	
			増減率
<b>業務粗利益</b> (1)	<b>4,223</b>	<b>△318</b>	<b>△7.0%</b>
資金利益 (2)	2,791	△205	
うち国内預貸金利益(合算)*1 (3)	2,316	△179	
信託報酬 (4)	133	△28	
役員取引等利益 (5)	1,039	△34	
その他業務粗利益 (6)	259	△49	
うち債券関係損益(先物込) (7)	126	△59	
経費(除く銀行臨時処理分) (8)	△2,568	△3	△0.1%
経费率 (9)	60.7%		
<b>実質業務純益*2</b> (10)	<b>1,656</b>	<b>△321</b>	<b>△16.2%</b>
株式等関係損益(先物込) (11)	14	+21	
与信費用 (12)	216	+386	
その他の臨時・特別損益 (13)	△64	△105	
<b>税金等調整前四半期純利益</b> (14)	<b>1,824</b>	<b>△18</b>	<b>△1.0%</b>
税金費用等 (15)	△525	+15	
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b> (16)	<b>1,298</b>	<b>△3</b>	<b>△0.2%</b>
1株当たり四半期純利益(EPS、円) (17)	54.04	△0.13	
1株当たり純資産(BPS、円) (18)	759.50	+42.42	

\*1. 国内預貸金利益: 銀行勘定(譲渡性預金を含む)

\*2. 信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益

\*3. 利益にマイナスの場合は「△」を付して表示

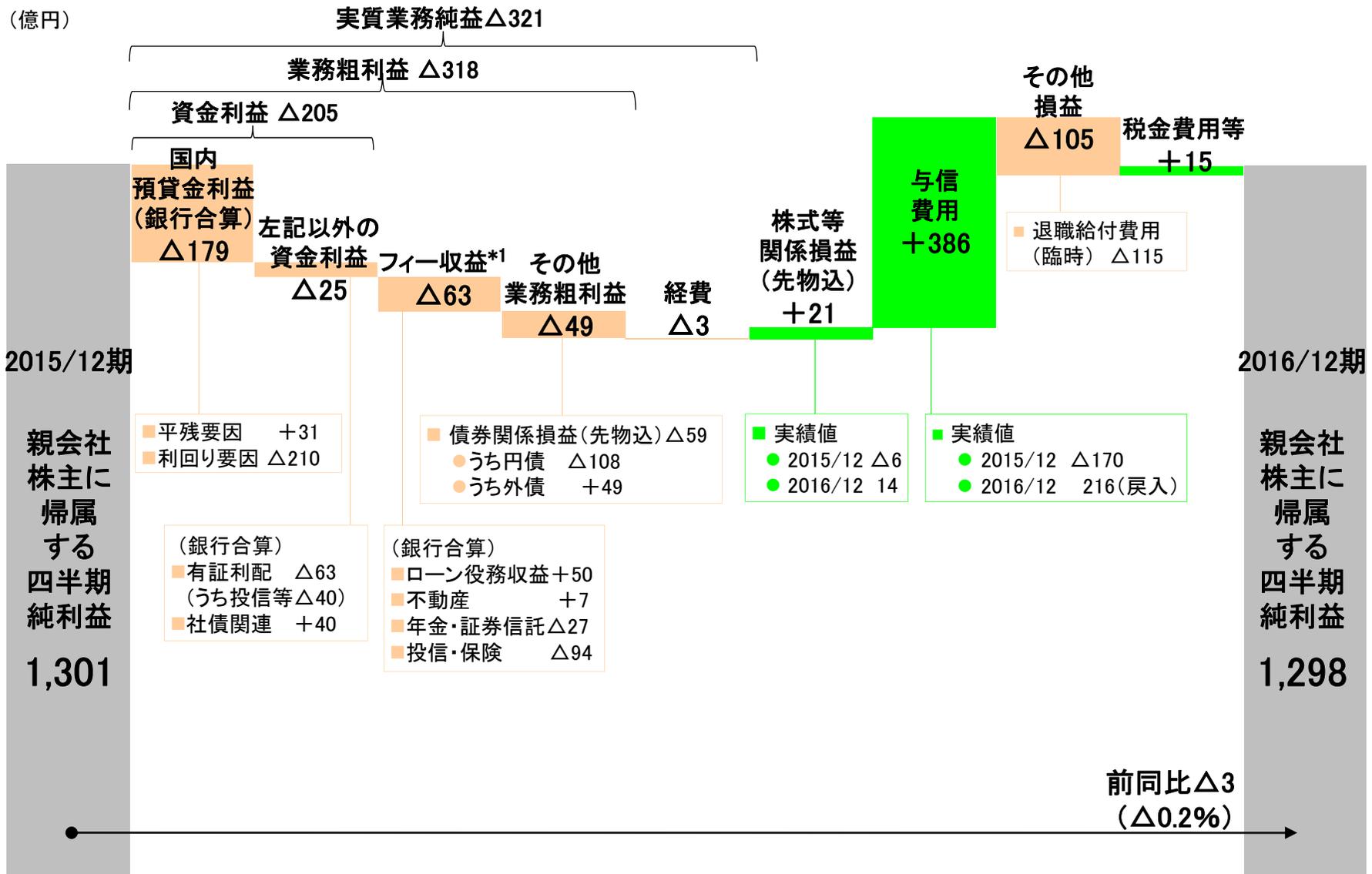
# 損益内訳

(億円)	HD連結		銀行合算		銀行別			連単差	
		前年同期比		前年同期比	りそな銀行	埼玉りそな銀行	近畿大阪銀行		前年同期比
<b>業務粗利益</b> (1)	<b>4,223</b>	<b>△318</b>	<b>3,885</b>	<b>△301</b>	2,646	922	316	338	△16
<b>資金利益</b> (2)	2,791	△205	2,757	△197	1,775	738	244	33	△8
うち国内預貸金利益 (3)			2,316	△179	1,461	634	220		
信託報酬 (4)	133	△28	133	△28	133			△0	+0
役務取引等利益 (5)	1,039	△34	741	△29	528	158	55	297	△4
<b>その他業務粗利益</b> (6)	259	△49	252	△46	209	26	17	6	△3
うち債券関係損益(先物込) (7)	126	△59	126	△59	98	13	14	-	-
<b>経費(除く銀行臨時処理分)</b> (8)	△2,568	△3	△2,432	△0	△1,594	△558	△280	△135	△3
<b>実質業務純益*1</b> (9)	<b>1,656</b>	<b>△321</b>	<b>1,453</b>	<b>△302</b>	1,052	364	36	203	△19
株式等関係損益(先物込) (10)	14	+21	14	+23	△2	8	9	0	△2
与信費用 (11)	216	+386	184	+333	134	18	31	32	+53
その他の臨時・特別損益 (12)	△64	△105	△60	△85	△69	△5	13	△3	△19
<b>税引前(税金等調整前)四半期純利益</b> (13)	<b>1,824</b>	<b>△18</b>	<b>1,591</b>	<b>△30</b>	1,114	386	90	232	+11
税金費用等 (14)	△525	+15	△446	+22	△310	△113	△21	△79	△7
<b>(親会社株主に帰属する)四半期純利益</b> (15)	<b>1,298</b>	<b>△3</b>	<b>1,145</b>	<b>△7</b>	803	272	69	152	+4

\*1. 信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益

# 期間損益の前年同期比増減要因

(億円)



\*1. 役務取引等利益+信託報酬

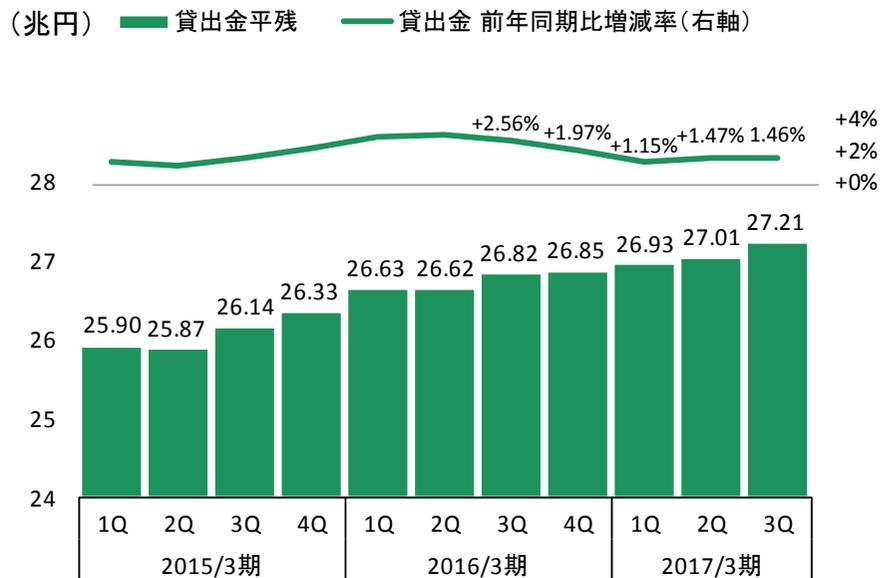
# 貸出金・預金の平残・利回り

銀行合算

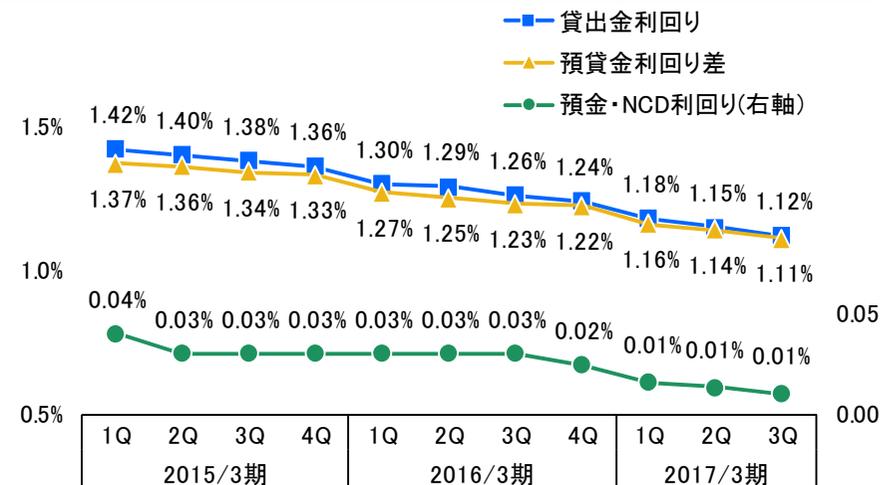
## 貸出金・預金の平残、利回り、利回り差

(平残:兆円、収益・費用:億円)		2017/3期				
		1-3Q		計画*3		
		実績	前同比	前年比	前年比	
貸出金平残(銀行勘定)		(1)	27.56	+1.29%		
国内	貸出金	平残 (2)	27.05	+1.36%	27.14	+1.52%
		利回り (3)	1.15%	△0.13%	1.14%	△0.13%
		収益 (4)	2,356	△234	3,114	△312
	コーポレート部門(公共除) *1	平残 (5)	15.69	+1.08%	15.76	+1.29%
		利回り (6)	0.99%	△0.16%	0.98%	△0.16%
	コンシューマー部門*2	平残 (7)	10.40	+1.80%	10.41	+1.93%
		利回り (8)	1.44%	△0.09%	1.44%	△0.08%
	預金+NCD	平残 (9)	39.45	+3.63%	38.62	+1.43%
		利回り (10)	0.01%	△0.01%	0.01%	△0.01%
		費用 (11)	△39	+55	△50	+67
	預貸金	利回り差 (12)	1.14%	△0.11%	1.13%	△0.11%
		利益 (13)	2,316	△179	3,064	△244

## 貸出金平残、前年同期比増減率(国内)



## 預貸金利回り・利回り差(国内)



\*1. 社内管理計数、コーポレート部門(公共除): 一般貸出 + アパートマンションローン  
 \*2. 社内管理計数、コンシューマー部門: 自己居住用住宅ローン + 消費性ローン  
 \*3. 2016年11月に策定した通期計画

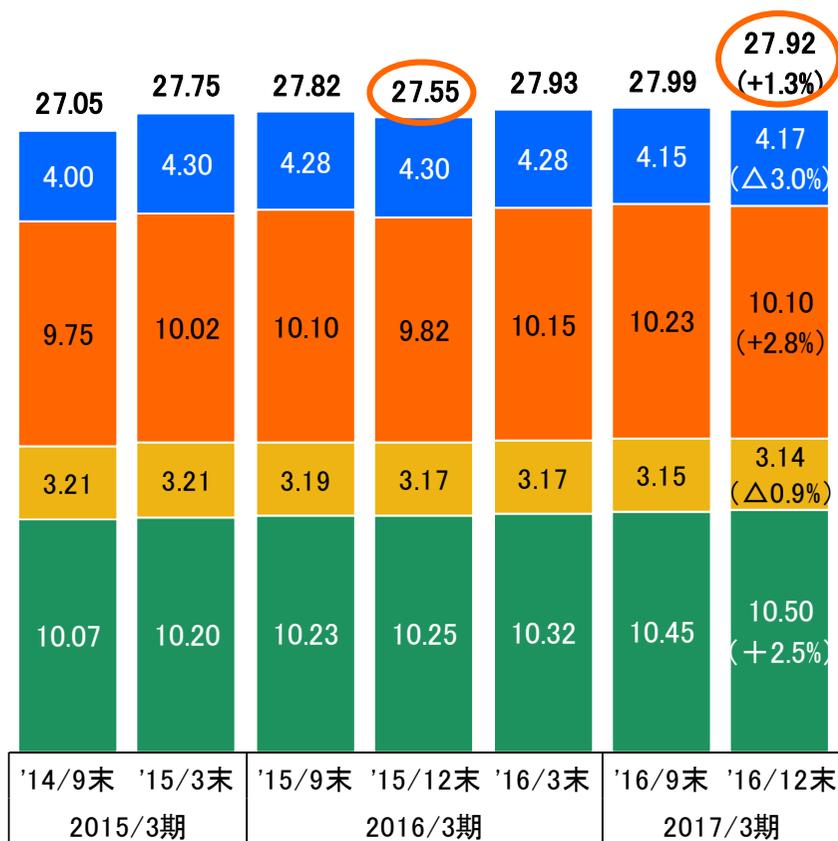
# 貸出金・預金末残

銀行合算

## 貸出金末残

兆円、()内は  
前年同期比増減率

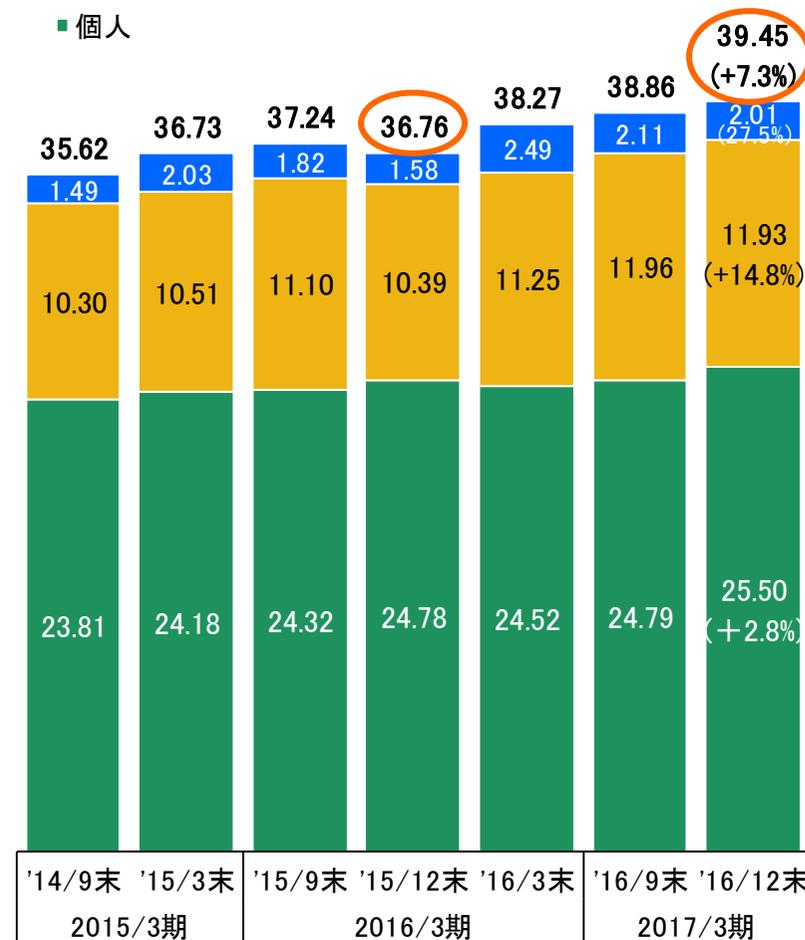
- コーポレート部門(その他大企業等)\*1
- コーポレート部門(中小企業)
- コーポレート部門(アパートマンションローン)
- コンシューマー部門(自己居住用住宅ローン+消費性ローン)



## 預金末残

兆円、()内は  
前年同期比増減率

- その他
- 法人
- 個人



\*1. りそな銀行からりそなホールディングスへの貸出を含む(2014/9末~2016/9末 0.30兆円、2016/12末 0.26兆円)

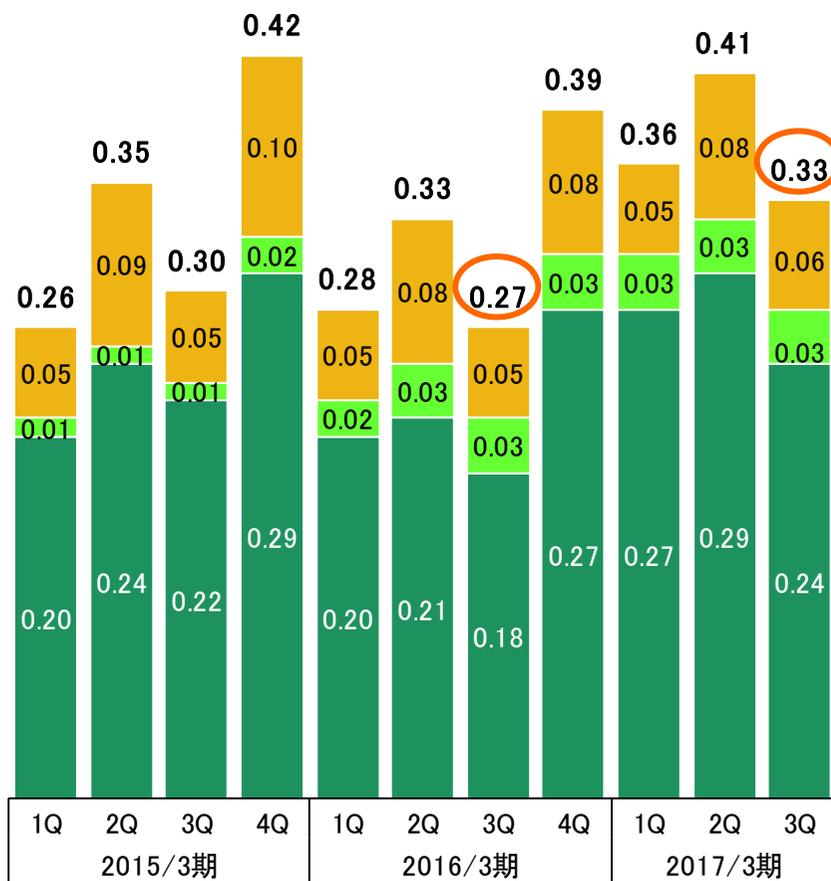
# 住宅ローンビジネス

銀行合算

## 住宅ローン実行額

(兆円)

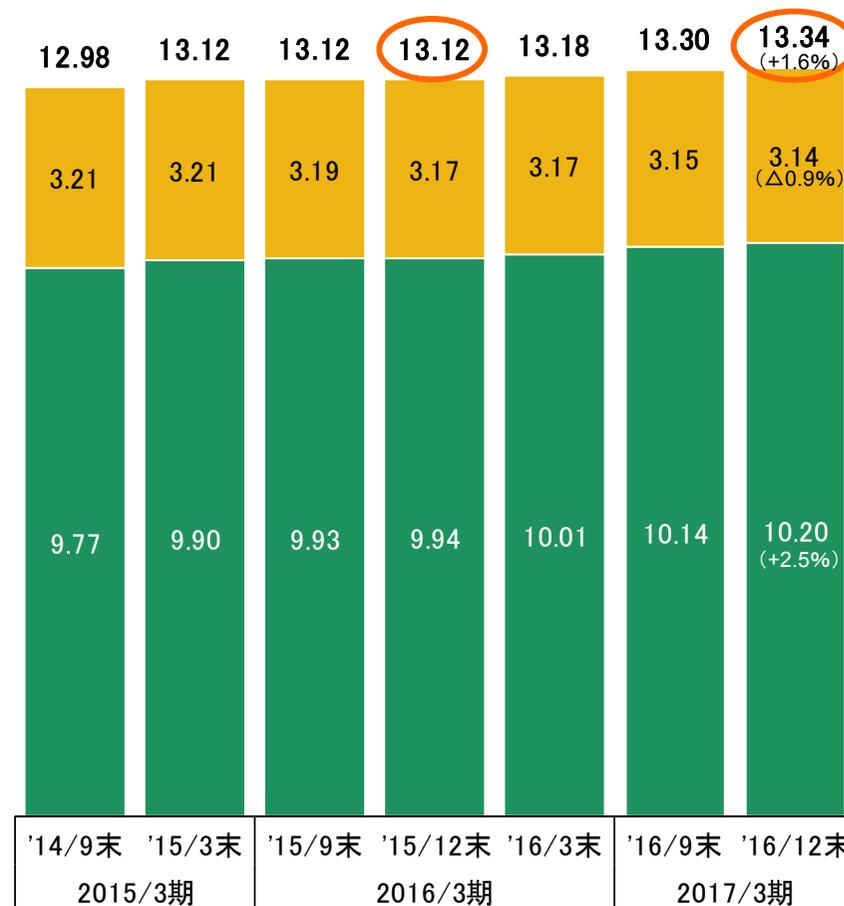
- アパートマンションローン
- フラット35
- 自己居住用住宅ローン



## 住宅ローン未残

兆円、()内は  
前年同期比増減率

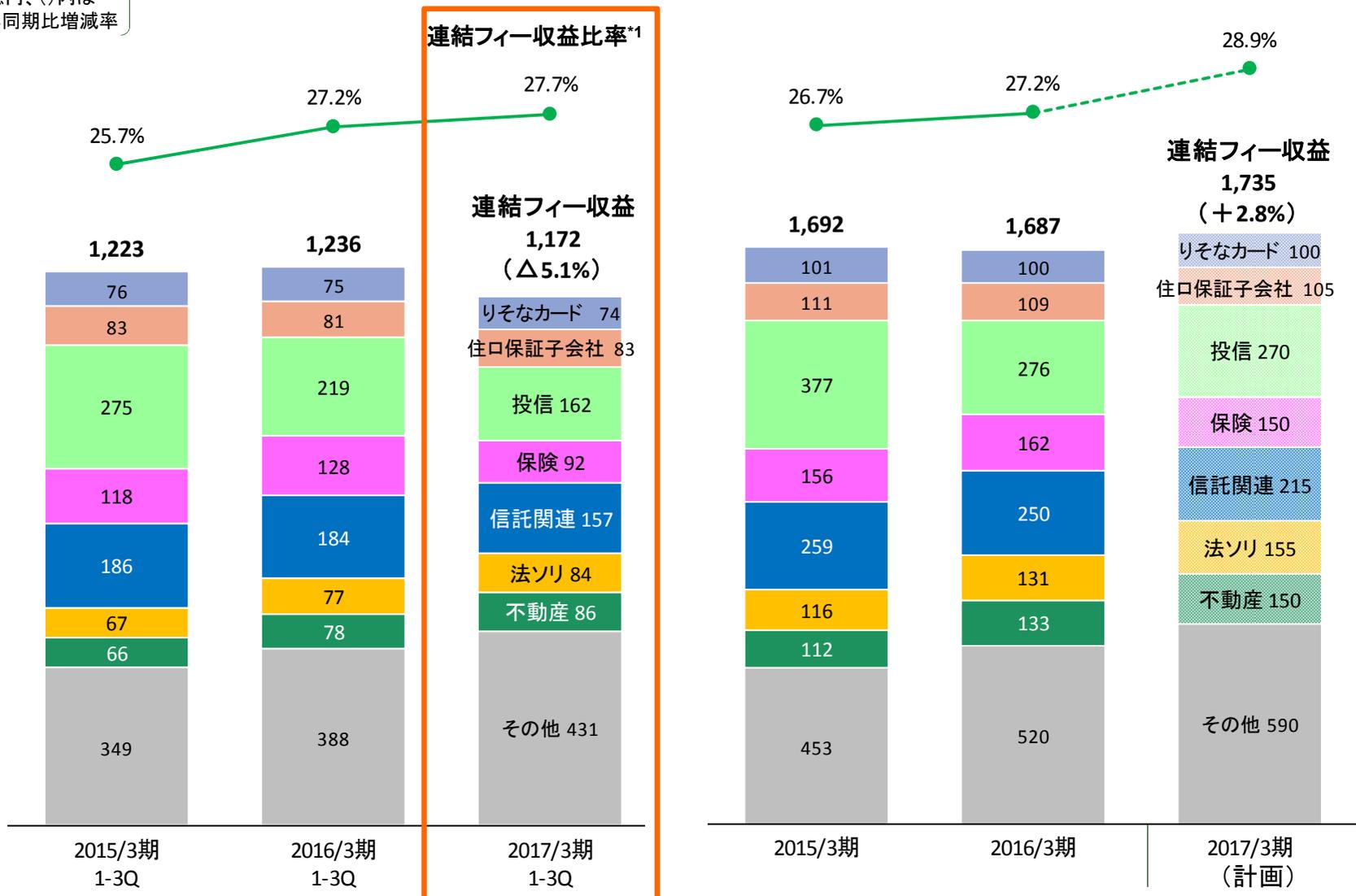
- アパートマンションローン
- 自己居住用住宅ローン



# フィー収益の推移

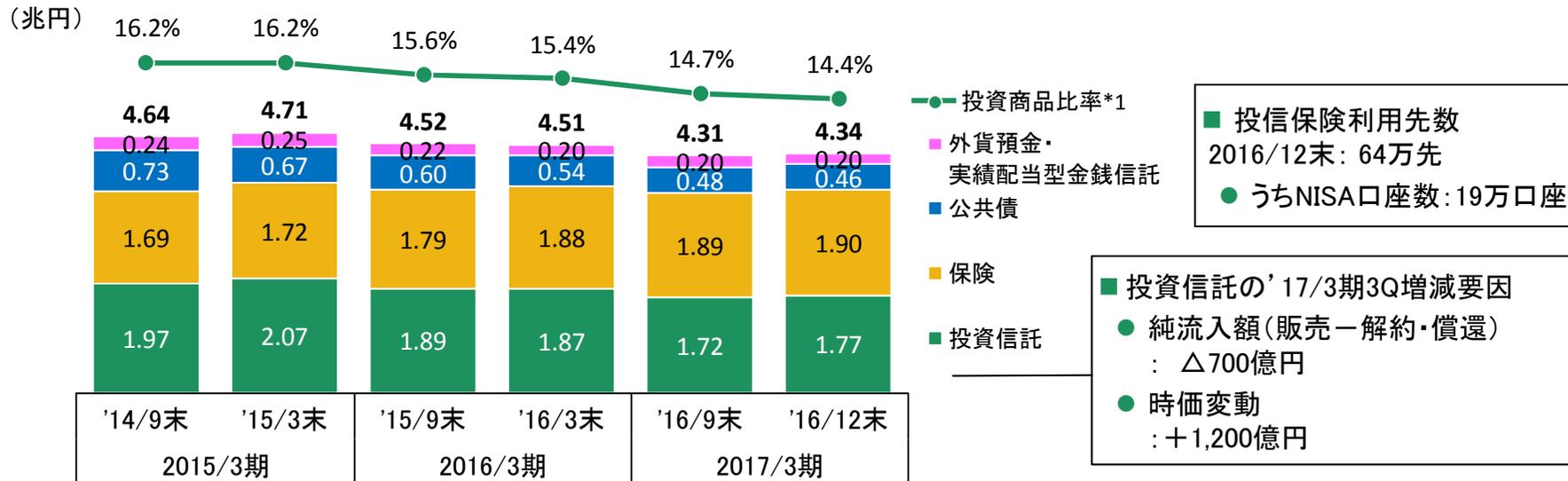
2017/3期第3四半期の連結フィー収益比率は27.7%

億円、()内は  
前年同期比増減率

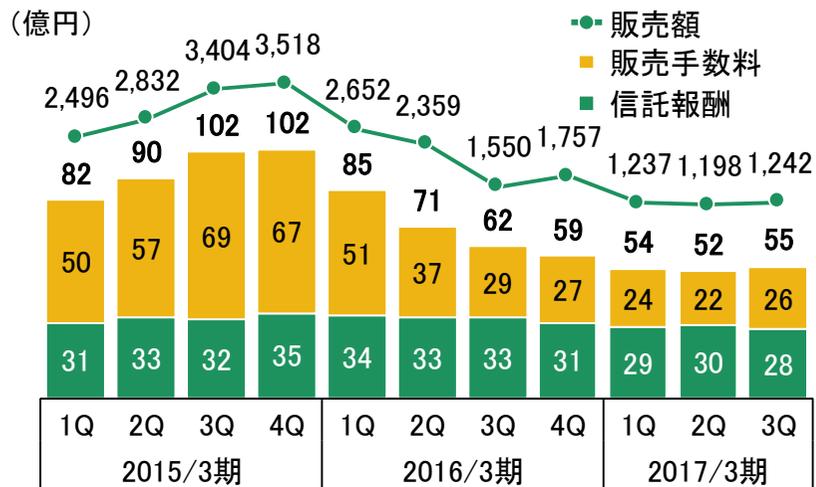


\*1. (役務取引等利益+信託報酬) / 業務粗利益

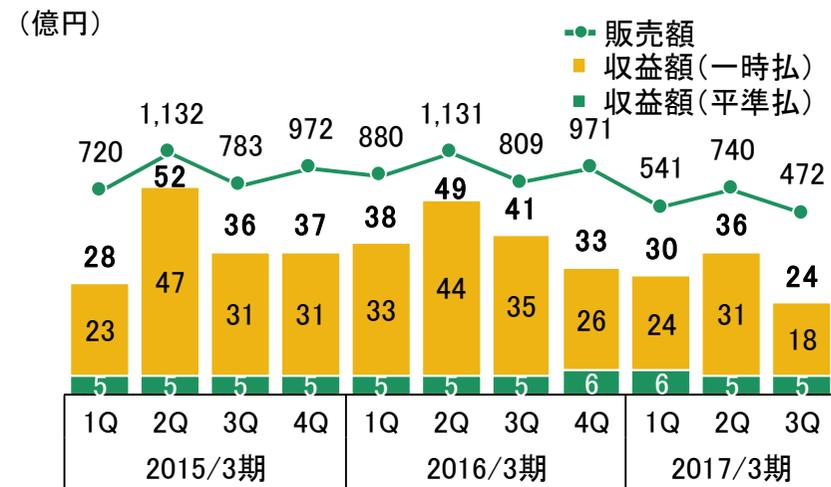
### 個人向け投資商品残高



### 投資信託



### 保険



\*1. 投資商品比率 = 個人向け投資商品残高 / (個人向け投資商品残高 + 個人預金(円貨))  
\*2. 社内管理計数

# 与信費用、不良債権

HD連結・銀行合算

## 与信費用

(億円)	'15/3期	2016/3期		2017/3期	
		1-3Q (9ヵ月)		1-3Q (9ヵ月)	計画
HD連結 (1)	223	△170	△258	216	△55

銀行合算 (2)	243	△148	△234	184	△55
一般貸倒引当金 (3)	235	△1	△0	89	
個別貸倒引当金等 (4)	7	△146	△234	95	
新規発生 (5)	△295	△348	△439	△133	
回収・ 上方遷移等 (6)	303	201	204	228	

連単差 (7)	△19	△21	△23	32	-
うち、住宅ローン保証 (8)	11	26	26	27	
うち、りそなカード (9)	△16	△14	△18	△16	

### <与信費用比率>

(bps)

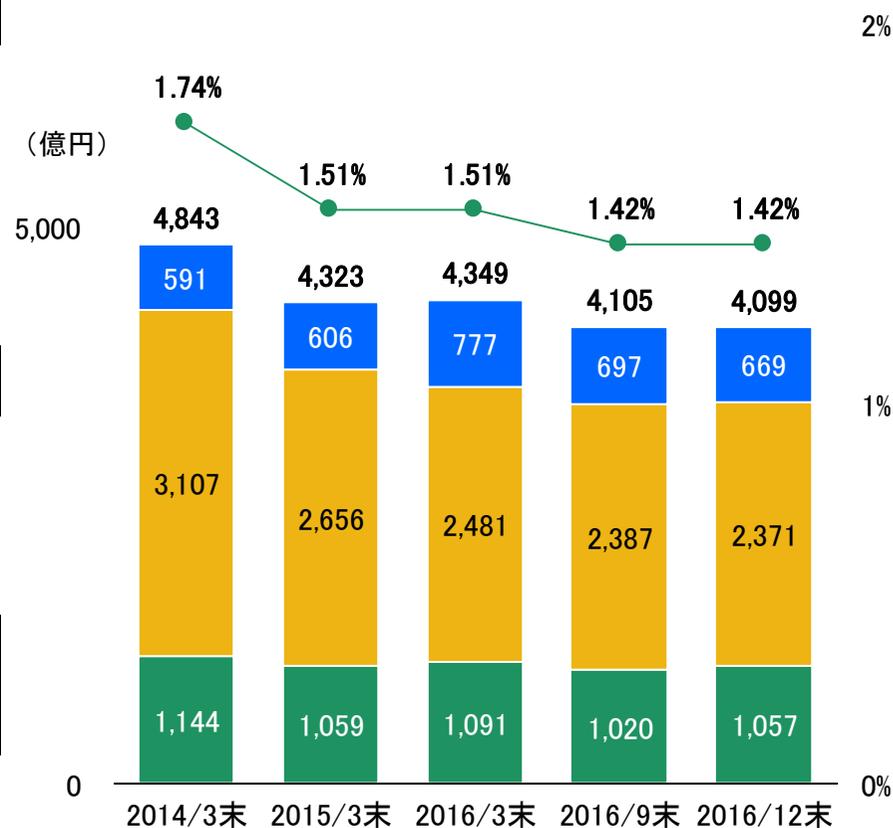
HD連結*1 (10)	8.1	△8.1	△9.2	10.2	△1.9
銀行合算*2 (11)	8.6	△6.9	△8.2	8.5	△1.8

\*正の値は戻入を表す

## 不良債権残高・比率の推移(銀行合算)

(金融再生法基準)

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
- 危険債権
- 要管理債権
- 不良債権比率(右軸)



\*1. HD連結与信費用/(連結貸出金+連結支払承諾見返未残)(期首・期末平均)

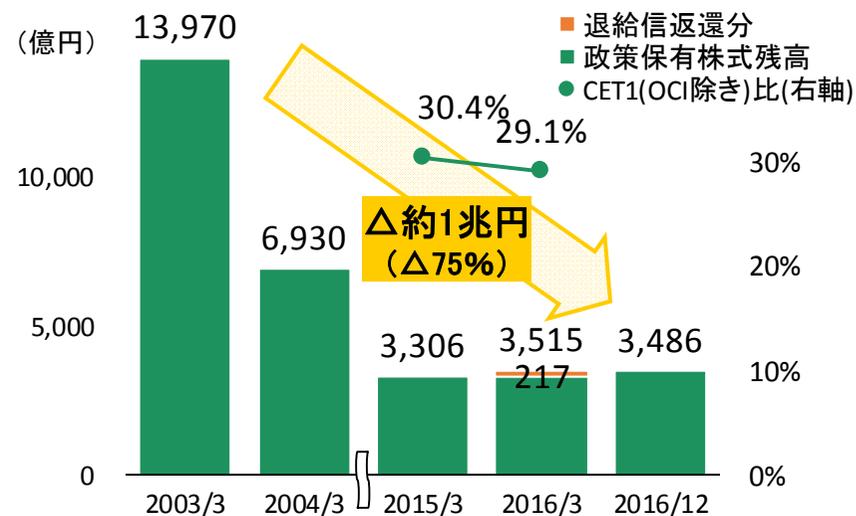
\*2. 銀行合算与信費用/金融再生法基準与信残高(期首・期末平均)

## 有価証券

(億円)		2016/3末	2016/9末	2016/12末	評価差額
その他有価証券*1	(1)	24,597	24,080	25,962	5,188
株式	(2)	3,515	3,491	3,486	5,266
債券	(3)	16,819	15,301	16,229	△11
国債	(4)	7,602	5,589	6,256	△56
(デュレーション)	(5)	3.1年	5.2年	7.8年	-
(BPV)	(6)	△2.4	△2.9	△4.8	-
地方債・社債	(7)	9,216	9,711	9,973	44
その他	(8)	4,263	5,288	6,247	△65
外国証券	(9)	2,398	3,036	3,195	△127
(評価差額)	(10)	4,601	4,379	5,188	
満期保有債券*2	(11)	23,835	23,221	22,895	721
国債	(12)	18,798	18,390	17,791	576
(評価差額)	(13)	936	899	721	

## 政策保有株式

- 損益分岐点株価(日経平均ベース): 6,200円程度
- 2016/12期 売却額(上場分・取得原価): 29億円  
売却益(同): 47億円
- 政策保有株式に関する方針の概要
  - 公的資金による資本増強以降、残高圧縮に取り組み、価格変動リスクを低減
  - 引き続き、保有の是非は中長期的な取引展望の実現可能性を含むリスク・リターンを検証により判断し、中期的にCET1\*3比「10%台\*1」に削減方針
    - 今後5年で350億円程度の削減を計画



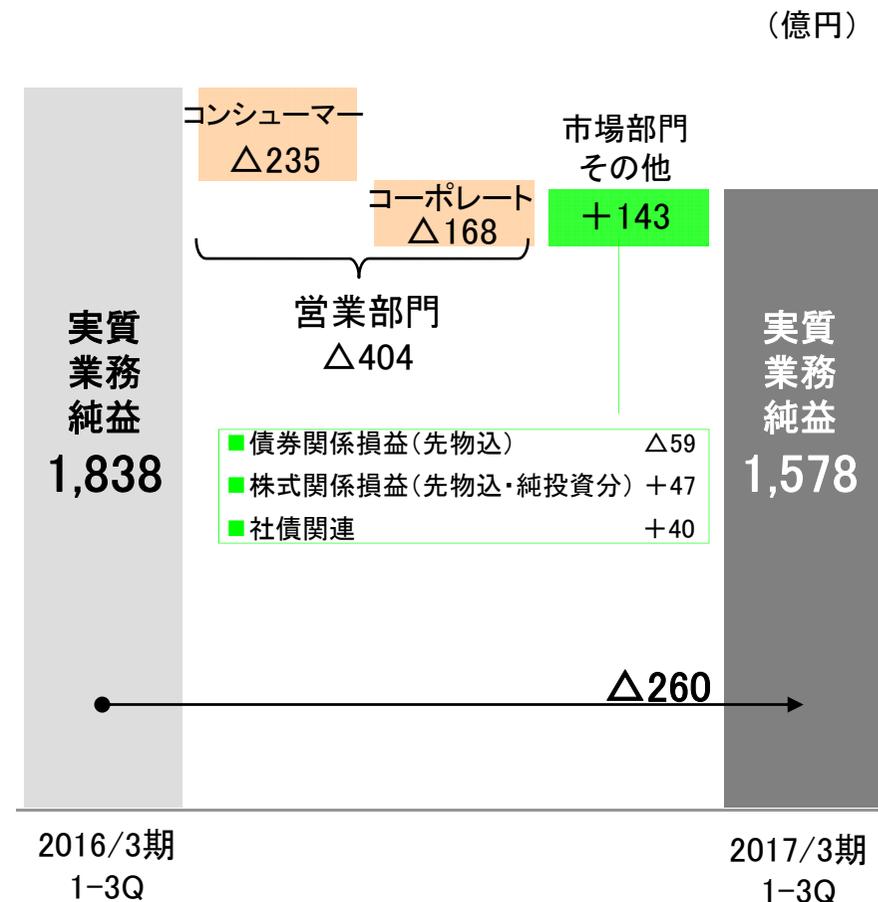
\*1. 取得原価、時価のある有価証券    \*2. BS計上額、時価のある有価証券    \*3. OCI除き

# (ご参考)事業部門別の損益概要 (1)

銀行及びローン保証子会社

実質業務純益は、営業部門の減益を主因に前同比260億円の減益

(億円)		2017/3期 1-3Q	前年同期比
営業部門	業務粗利益 (1)	3,453	△412
	経費 (2)	△2,375	+8
	実質業務純益 (3)	1,078	△404
コンシューマー 事業	業務粗利益 (4)	1,606	△238
	経費 (5)	△1,262	+2
	実質業務純益 (6)	344	△235
コーポレート 事業	業務粗利益 (7)	1,846	△173
	経費 (8)	△1,112	+5
	実質業務純益 (9)	733	△168
市場部門・ その他	業務粗利益 (10)	581	+153
	経費 (11)	△81	△9
	実質業務純益 (12)	499	+143
合計	業務粗利益 (13)	4,035	△259
	経費 (14)	△2,456	△1
	実質業務純益 (15)	1,578	△260



## 管理会計における 計数の定義

1. グループ3銀行及びローン保証子会社3社の計数を計上
2. 市場部門の業務粗利益には、株式等関係損益の一部を含む
3. 「その他」には、経営管理部門の計数等を含む

# (ご参考)事業部門別の損益概要 (2)

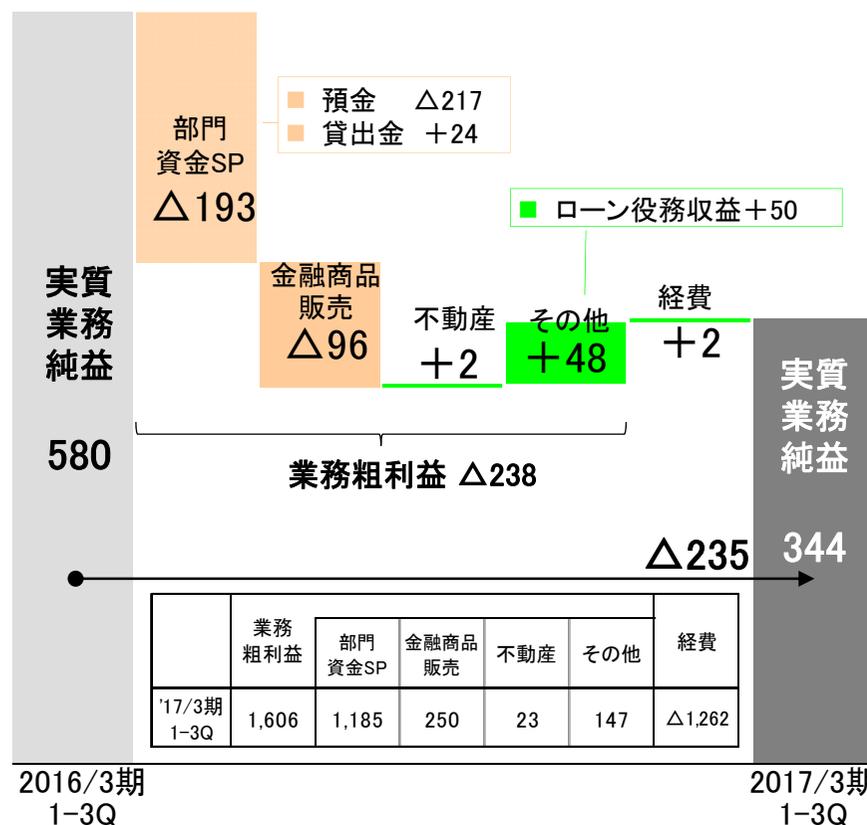
## 銀行及びローン保証子会社

### コンシューマー部門

- 実質業務純益は前同比235億円の減益
  - 部門資金SPは、金利低下影響により減少
  - 金融商品販売収益は、不安定な市況の影響等により減少

【変動要因】

(億円)

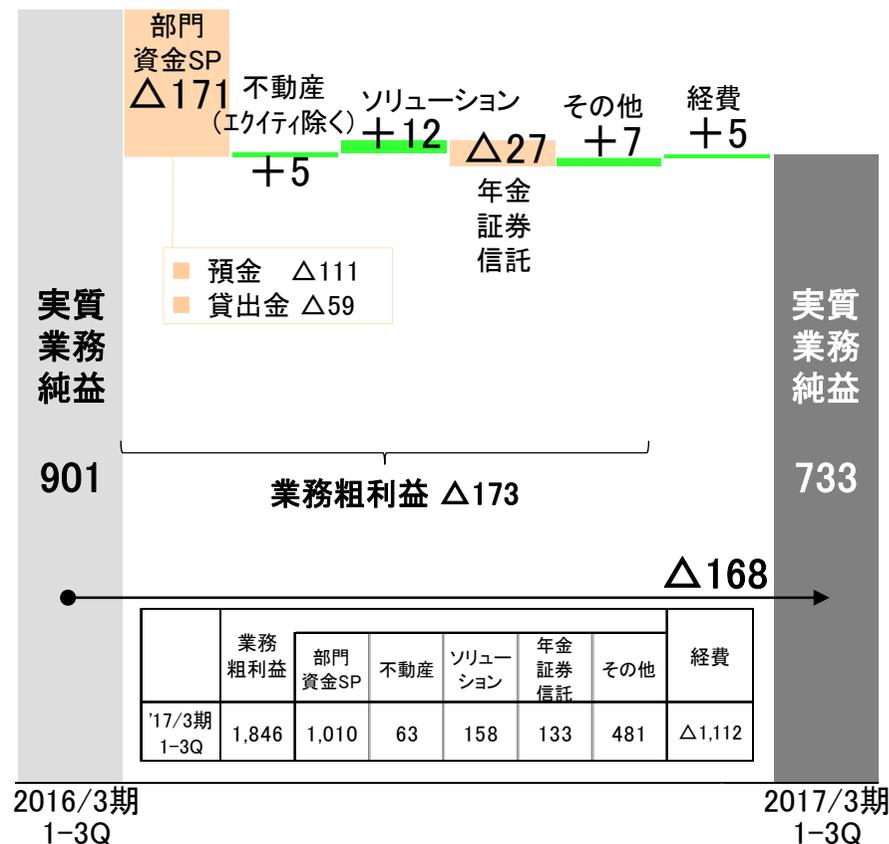


### コーポレート部門

- 実質業務純益は前同比168億円の減益
  - 部門資金SPは、金利低下影響により減少

【変動要因】

(億円)



本資料中の、将来に関する記述（将来情報）は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府や中央銀行の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。

想いをつなぐ、未来を形に。 *Next Action* RESONA GROUP

